

沖縄県子ども地域安全マップコンテスト表彰式に出席

～マップコンテスト受賞者に対して防災ボトルを副賞として贈呈～

日本損害保険協会九州・沖縄支部（損保会長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、10月13日（月・祝）にイオンモール沖縄ライカム（北中城村）で行われた、ちゅううちな一安全なまちづくり推進会議（沖縄県・沖縄県警察本部・沖縄県教育庁）主催の「第19回沖縄県子ども地域安全マップコンテスト」の表彰式に出席し、受賞児童へ副賞として防災ボトルを贈呈しました。

沖縄県では、犯罪の発生を抑え、全ての人々が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、「ちゅうらさん運動」を推進しており、その一環として子どもたちに危険な場所への気づきを促すとともに、地域との結びつきや子どもたちを守ろうとする地域の取組み、地域への愛着心の醸成を目的に、2007年から「沖縄県子ども地域安全マップコンテスト」を実施しています。九州・沖縄支部では、当該活動の趣旨に賛同し、指導者講習会の講師を担当するほか、9月17日（水）に実施された審査会に審査委員として参加するなど、沖縄県子ども地域安全マップコンテストに協力しております。

九州・沖縄支部では、ちゅううちな一安全なまちづくり推進会議をはじめ、関係機関とともに、子どもたちの地域活動を支援しながら、郷土愛を育み、地域の安全・安心の向上に資する活動を展開してまいります。



受賞者集合写真の様子



表彰式会場でのマップ展示の様子



副賞贈呈の様子



贈呈した副賞の防災ボトル